



◆令和6年度 第2回コミュニティ・スクール(学校運営協議会)が行われました。

去る12月4日(水)15:00より、第2回学校運営協議会を開催いたしました。お忙しい中、委員の皆様にお集まりいただき、今回は2つのグループに分かれて意見交流を行いました。議事については次のとおりでした。

《議事》令和6年度第2回学校運営協議会

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 意見交流(2つのグループで意見交流)
- 【地域と連携・協働した教育活動の充実について】
- 【地域と連携した一日防災学校の取り組みと、災害時における本校に求められる役割について】
- (3) 全体交流
- (4) 校長あいさつ



本校の多目的室にて、委員長、鈴木 潤也様からご挨拶をいただいたのち、2つのテーマについて、それぞれのグループに分かれて意見交流を行いました。意見交流の詳細につきましては本通信のそれぞれのテーマ毎の記載のとおりですが、どちらも、様々なご経験やお立場から、情報を提供いただき、今後の教育活動の計画、実施に向けて、大変貴重な意見交流となりました。

なお、第3回学校運営協議会については令和7年2月中旬を予定しております。



テーマ①「地域と連携・協働した教育活動の充実について」

【いただいたご意見・情報など】

- ・スポーツ支援員がスポーツセンターに配置されている。季節に合わせた運動教室を、1日に2回実施している。冬場はスポーツセンターでウォーキングなどの運動教室を実施している。陶芸やミシンの支援などの支援活動もしている。
- ・異文化交流などで外国人職員との交流で貢献できる。
- ・フードドライブ(北広島市)を活用する。
- ・食育活動、農業体験(南幌町の資源活用)
- ・キッチンカーの訪問(北広島市の福祉事業所)
- ・豆腐づくり、キャベツでキムチ作りなどを南幌温泉の隣でつくっている所がある。また、教育委員会では、生涯学習講座で豆腐づくり講座なども開講している。



テーマ②「地域と連携した一日防災学校の取り組みと、災害時における本校に求められる役割について」【いただいたご意見・情報など】

- ・南幌町の避難所として、子どもたちがいる場合、いない場合を想定して開設など考えていく必要がある。特別支援学校では児童生徒のルーティンが変わるので大変だと思う。避難に備え、防災食、段ボールベット、トイレの使用について体験しておくことが大切である。
- ・災害時は家庭も被災をしている。迎えに行くための道路状況や避難をしている場所、子どもたちの様子がわかるように情報を保護者に発信することも大切である。
- ・本校の児童生徒について地域の人にも知ってもらう機会が大切である。家庭との協力も必要であり、子どもたちの安心グッズがあると良い。
- ・安心できるもの、食べられるもの、防災時を考えて衣服の入れ替えなど保護者と協力しそろえておく方法もある。
- ・防災食も本人が食べられるものを用意する必要がある。子どもたちはどんなものなら食べられるかを家庭でも知っておくことも大切である。

